

令和7年度 健康・福祉に関する諸計画の推進に関する意見書

令和8年3月26日
多治見市地域福祉計画評価委員会
委員長 海老諭香

- 1 人材確保・育成の取り組み【地域福祉計画－地域福祉を担う地域住民の育成】
地域福祉の担い手が不足している。企業、自治組織のほか、地域との関わりが希薄化する傾向にある高校生、大学生等、社会参加が可能な元気な高齢者も支援者側に巻き込むなど、皆が地域福祉に参加できる仕組みの構築及び人材の育成を検討いただきたい。

- 2 災害時のサポート体制の強化【障害者計画－避難行動要支援者の避難支援の充実】
障がいのある人も災害時に安心して過ごせるように、情報発信及び災害時のサポート体制を強化していただきたい。

- 3 市の関係機関の横断的な取り組みの強化【地域福祉計画－関係機関、関係部署による情報共有と連携】
市の各部署で高齢者福祉、障がい者福祉、児童福祉、健康づくりの取り組みを進めている。それらがつながりを持つことで、互いの取り組みの効果がより一層現れるのではないかと。市の各部署の連携を強化し、横断的な取り組みを進めていただきたい。

以上